

「協働的なリーダーシップ：日々の対話を大切にするために」
講師：奈良教育大学 准教授 佐川 早季子氏

前回までの研修での気づき

ミドルリーダーの役割として、コミュニケーションを図ることが大切である。

ミドルリーダーのベースとなる役割

- ・人と人をつなぐ
- ・信頼関係を築く

人と人をつないでいく
ために私たちができる
ことは何だろう…？

〈保育における感情労働〉

感情労働…イメージの中で「感情規則」にしたがって感情を制御・管理しながら仕事をしている職業

保育士は「明るい」「元気」が期待される側面と「冷静沈着」が求められる側面がある。保育者は、子どもに注意を促す際に真剣な表情を示したり、保護者あるいは同僚とのコミュニケーションの取り方を工夫したり等、様々な感情を使ってコミュニケーションをとる必要があるところで専門性が求められる。

〈保育士の情動知能の重要性〉

保育者は自分自身の感情についてよく知り、よりよくコントロールするスキルを身につける必要がある。

理由①ストレス軽減やバーンアウト(燃え尽き)の予防

理由②保育者の感情の在り方が乳幼児期の子どもの発達に影響を与える

〈保育士の組織や仕事の考え〉

保育士の「気持ちや立場を大切にしてくれる」配慮型リーダーシップが、“この園が好き”“今の仕事が好き”など仕事を続けていきたい要因と関係する(厨子・森下、2017)。



グループワーク 人と人をつなぐミドルリーダーの役割を考える～事例を通しての話し合い～

事例1：【初任保育者】子どもの対応を話したいけど言い出せない

事例2：【中堅保育者】自分が思うような保育をやらせてもらえない

- ① それぞれの立場になって、気持ちを代弁してみましょう
- ② 対処法を考えてみましょう

どんな対処法をとろうか、ミドルリーダーなりに考えてみましょう。

グループで話し合った内容を発表する。

個人ワーク 自分らしいミドルリーダー像を探る

台紙(無地・木)に鉛筆や色鉛筆を使って自分の保育者としての特徴を描いていく

- ・「保育者としての自分」の特徴…強味、弱み、得意なこと、鍵となる出来事や影響を受けたことを示しながら描く。
- ・一体自分はどんな人間？自分らしさやスタイル、大事にしたい考え方、実践してみたいことを描く。
- ・「保育者としての自分」の特徴…強み、弱み、等はミドルステージにいる自分のスタイルや実践にどのようなインパクトを与えたのか？



私の強みってこれなんだ。



私らしいってこれだ！



今の自分ってこうなんだ！

全3回のミドルリーダー研修を通しての振り返り

- ① 若手や同僚に対してどんな存在でありたいか(他者視点)
- ② 自分の「強み」や「大事にしたい考え方」は何か。



この2つの交わるところに
自分らしいミドルリーダー像
あるのかもしれない。

自分らしく、自分自身のやり方で、保育を探求していきましょう！

《全3回を通して受講された方の感想》

- ・自分自身がミドルリーダーとして園内でどのような役割をすべきか学ぶことができた。同時に自分らしいミドルリーダー像はどのようなものか少しずつ思い描けるようになった。
- ・他園の先生と話し合っって意見を出し合う中で、ミドルリーダーとしての役割の重要性、コミュニケーションの大切さを感じたと共に、自身の立場の大切さを考えていく場でもあった。ミドルリーダーの思いを大切に進めていきたい。
- ・グループワークが多かったので、実際に自分の言葉で意見を伝えていく中で、ミドルリーダーとしての立場で大切なことや、考えが整理され実践することができてよかった。
- ・最初はまだまだミドルリーダーなんてと思っていましたが、3回研修させていただいて、前向きに努力しようと思えるようになりました。